

2015年9月

## 世界の「朝の飲料」調査 紅茶派？コーヒー派？“朝の一杯”が気分にも影響… 「慌ただしい」日本は「朝」の紅茶飲用率最下位 朝にぴったりの味わい、「リプトン 朝の紅茶」シリーズ新発売

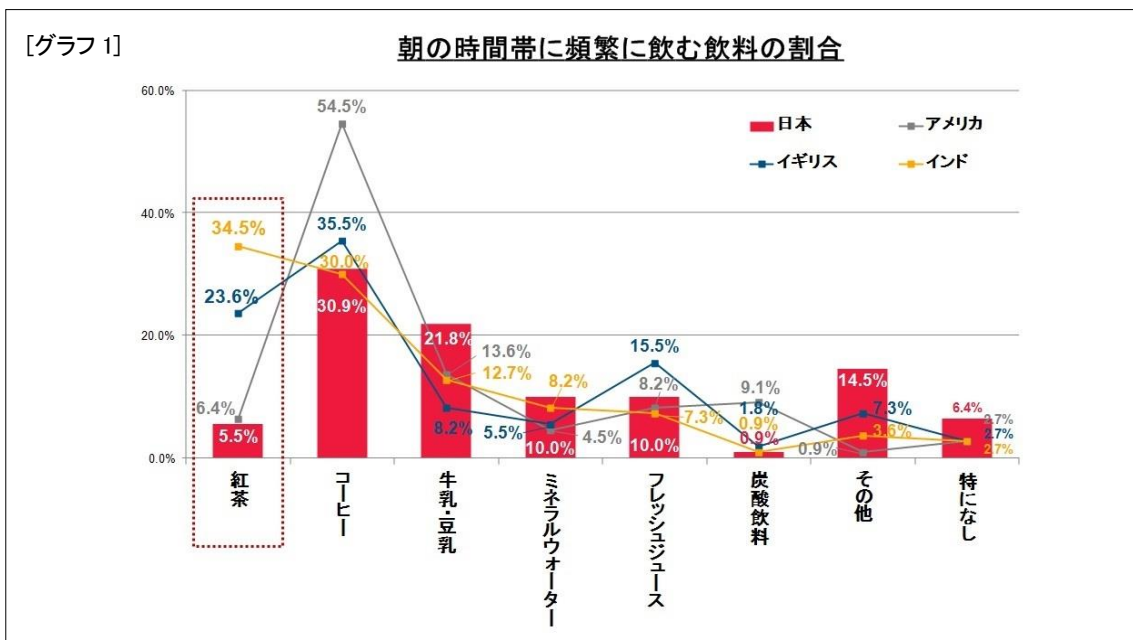
森永乳業は、このたび、9月8日(火)からの「リプトン 朝の紅茶 レモンティー」、「リプトン 朝の紅茶 ピーチティー」の発売に際して、世界の「朝の飲料」をテーマとした調査を行いました。

今回の調査は、日米の2か国に加えて、紅茶と縁が深く、“紅茶先進国”であるイギリス、インドの計4か国在住の20～60代の男女を対象に実施しました。その結果、「朝の飲料」としては「コーヒー」と「紅茶」が全体的な傾向として親しまれていることがわかりました。また、「紅茶」を飲む時間帯としては、イギリス、インドでは「朝」の飲用率が高く、日本は「朝」の飲用率が4か国中最下位と、特徴的な結果となりました。

### ■ 世界の朝は「コーヒー」と「紅茶」でスタート！インドは「紅茶派」が日本の6倍に

1日の始まりである朝に欠かせないのが、「コーヒー」や「紅茶」などの飲料です。まず、朝、頻繁に飲む飲料を比較したところ、日本では「コーヒー派」が多く、次いで「牛乳・豆乳派」で「紅茶派」はわずか5.5%。アメリカでも大多数が「コーヒー派」で、イギリスは「コーヒー派」と「紅茶派」が僅差で並びました。「紅茶」支持率が4か国中1位だったのはインドで、2位のイギリスと比べても約10ポイント差が開いています。

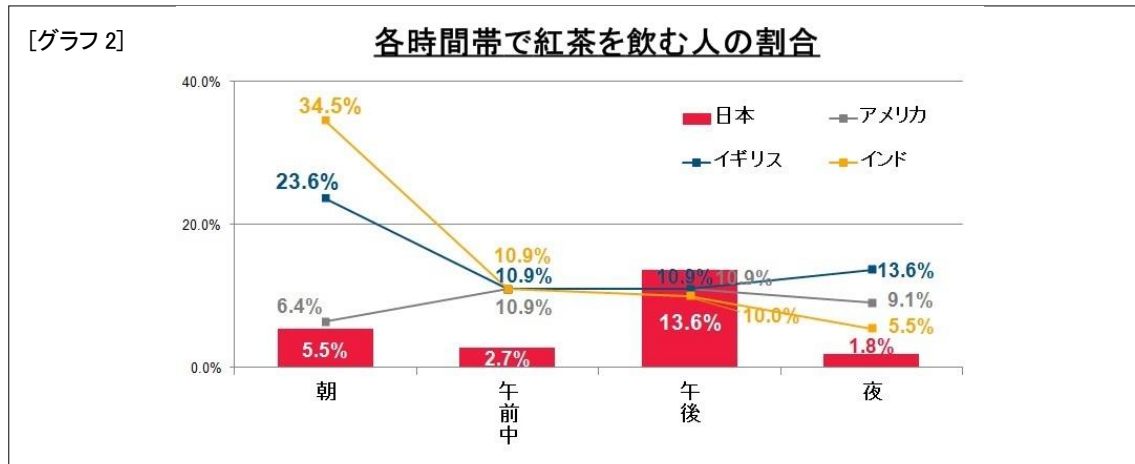
4か国全体では、「コーヒー」と「紅茶」の双方が親しまれているといえますが、日本とアメリカは「紅茶派」がともに1割未満とわずかで、「コーヒー」との差が目立っています。[グラフ1]



## ■ 紅茶と言えば「朝」の飲み物？日本の「朝」の紅茶飲用率は最下位に

そこで、「紅茶」が1日を通してどの時間帯に飲まれているのかを時間帯別に比較すると、インドは「朝」(34.5%)が群を抜いており、他の時間帯と比べても3倍以上もの差がありました。また、同じく「紅茶派」が多かったイギリスも「朝」(23.6%)に飲む人が1日の中で最も多いことがわかりました。

一方で、日本は「午後」(13.6%)の時間帯が最多で、「朝」(5.5%)の飲用率は4か国中最下位に。[グラフ2] この対照的な結果からは、「紅茶先進国」では「紅茶」と言えば「朝飲むもの」であり、生活に“朝の紅茶”が根付いている様子が見て取れます。



## ■ 「すがすがしい」、「仕事の効率が良い」… 紅茶派の国は朝からポジティブ？

最後に、「朝」の飲料に関連して、各国の「朝」の時間帯に対しての意識や気分についても調べました。その結果、日本は約2人に1人が「ゆったり過ごす時間がなかなかない」(48.2%)と回答。4か国の中でも突出して多く、「とにかく忙しい」(28.2%)が続いたことから、1日の始まりを慌ただしく過ごしている様子が見取れます。

「朝」の「紅茶派」が多かったインド、イギリスは日本と対照的で、インドでは「すがすがしい気分がいっぱいだ」(66.4%)という回答がトップに。イギリスでは「夜よりも仕事の効率が良い」(39.1%)がトップで、「とにかく忙しい」(38.2%)が続いたものの、比較的ポジティブな気分が挙がっています。朝に紅茶を飲むことが多い国は、忙しさを感じている人がいる一方で、仕事の効率の高さやすがすがしさも同時に感じています。ネガティブな気分が上位に並び、その回答率も高かった日本とは差が見られる結果で、「朝」の飲料が気分にも影響を与えている可能性が感じられます。

※4か国回答率(上位):

日本:「ゆったり過ごす時間がなかなかない」(48.2%)、「とにかく忙しい」(28.2%)、「できる限り早く仕事を始めようと思っている」(24.5%)

アメリカ:「とにかく忙しい」(44.5%)、「できる限り早く仕事を始めようと思っている」(35.5%)、「夜よりも仕事の効率が良い」(35.5%)

イギリス:「夜よりも仕事の効率が良い」(39.1%)、「とにかく忙しい」(38.2%)、「できる限り早く仕事を始めようと思っている」(30.0%)

インド:「すがすがしい気分がいっぱいだ」(66.4%)、「できる限り早く仕事を始めようと思っている」(55.5%)、「夜よりも仕事の効率が良い」(53.6%)

今回の調査結果からは、「朝」の飲料としては「コーヒー」と「紅茶」が親しまれていることとともに、「紅茶」を飲む時間帯としては、「紅茶先進国」では「朝」が多いことが明らかになりました。ただし、日本でも「紅茶」自体が飲まれていないわけではなく、「午後」が主な飲用シーンであり、イギリスやインドといった世界の国と比べて、「紅茶＝朝飲むもの」というイメージを持っている人がまだ少ないことが一因として考えられます。

#### 【調査概要】

- ・調査方法: インターネット調査
- ・調査期間: 2015年8月19日(水)~25日(火)
- ・調査対象: 日本・アメリカ・イギリス・インド在住の20~60代男女 各国110名(性年代別に均等割付)

### ■ リプトンが提案する、朝のライフスタイル。「リプトン 朝の紅茶」シリーズ新発売



アフタヌーン・ティーに代表されるように、「紅茶」は“午後に飲むもの”や、“ゆったり”、“リラックス”といったイメージを持たれていることが多く、日本においては、コーヒーなどに比べて朝のシーンに登場することが少ないといえます。

慌ただしく、なかなかゆったりとした時間がとれない朝。そんな時間にすっきりとした目覚めをお届けしたいという想いを込めて、このたび「リプトン」は、“朝の紅茶”という新しいライフスタイルをご提案いたします。

9月8日(火)より全国にて発売する「リプトン 朝の紅茶」シリーズは、紅茶のイメージを覆す、朝にぴったりの、すっきりとした甘さ控えめの紅茶シリーズです。隠し味にハーブフレーバーを使用し、香り高い紅茶にシチリア産レモン果汁を加えた「リプトン 朝の紅茶 レモンティー」、国産白桃果汁を加えた「リプトン 朝の紅茶 ピーチティー」の2種類ともに、すっきりとした味わいを実現しました。ぜひ、「リプトン 朝の紅茶」シリーズのすっきりとした味わいで、さわやかな目覚めをご体感ください。

なお、リプトンブランドサイトでは、通勤中の満員電車でのハプニングなど、朝のリズムを乱しがちな出来事を描いた動画コンテンツ、「朝リズム乱され劇場」を公開中です。

※リプトンブランドサイト:<http://www.liptonchilled.com/>

以上